

2016年3月期 中間決算説明会

大太平洋金属株式会社

2015年11月18日

お問い合わせ先 : 総務部 (IR担当)
TEL : 03-3201-6681

ホームページURL
<http://www.pacific-metals.co.jp>

もくじ

I 16.3期 中間決算

- | | |
|-----------------------------|---|
| 1. 概要 | 3 |
| 2. ニッケル事業 | 4 |
| 3. 連結経常損益の分析〔14.9実績対15.9実績〕 | 5 |

II ニッケル需給について

- | | |
|----------------------------------|----|
| 1. LMEニッケル価格（CASH）とLMEニッケル在庫数量推移 | 7 |
| 2. 世界のステンレス生産とニッケル需給 | 8 |
| 3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し | 9 |
| 4. 中国NPI生産の動向 | 10 |

III 16.3期 通期見通し

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 概要 | 12 |
| 2. ニッケル事業見通し | 13 |
| 3. 国別販売見通し〔15.3実績対16.3予想（新）〕 | 14 |
| 4. 国別販売先の動向 | 15 |
| 5. 連結経常損益の分析〔15.3実績対16.3予想（新）〕 | 16 |
| 6. 投資計画（単年ベース） | 17 |

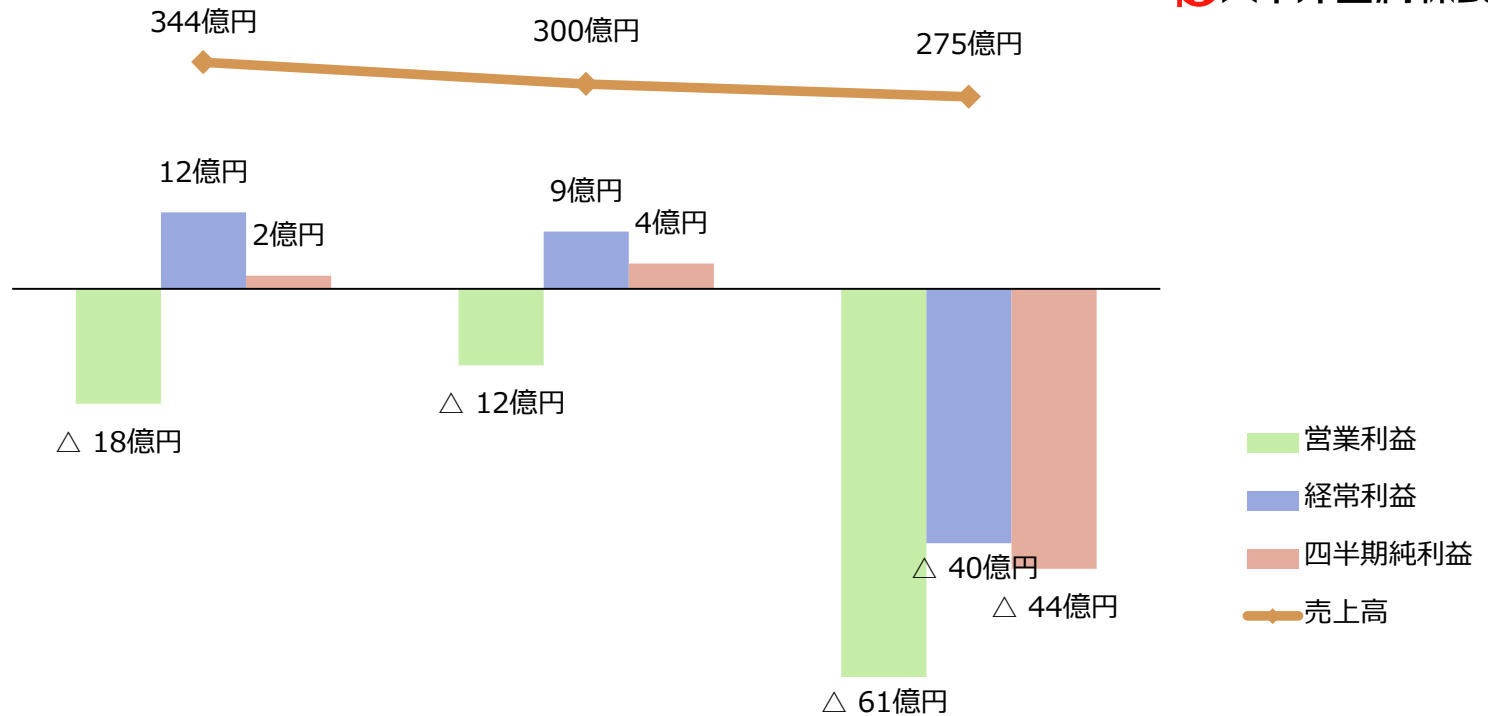
IV 経営課題への取り組み

- | | |
|------------------------|----|
| 1. ニッケル鉱石調達に関する課題 | 19 |
| 2. 鉱石調達コストの動向と対応 | 20 |
| 3. 鉱石長期購入契約・調達割合の動向と対応 | 21 |
| 4. 品位低下への対応 | 22 |

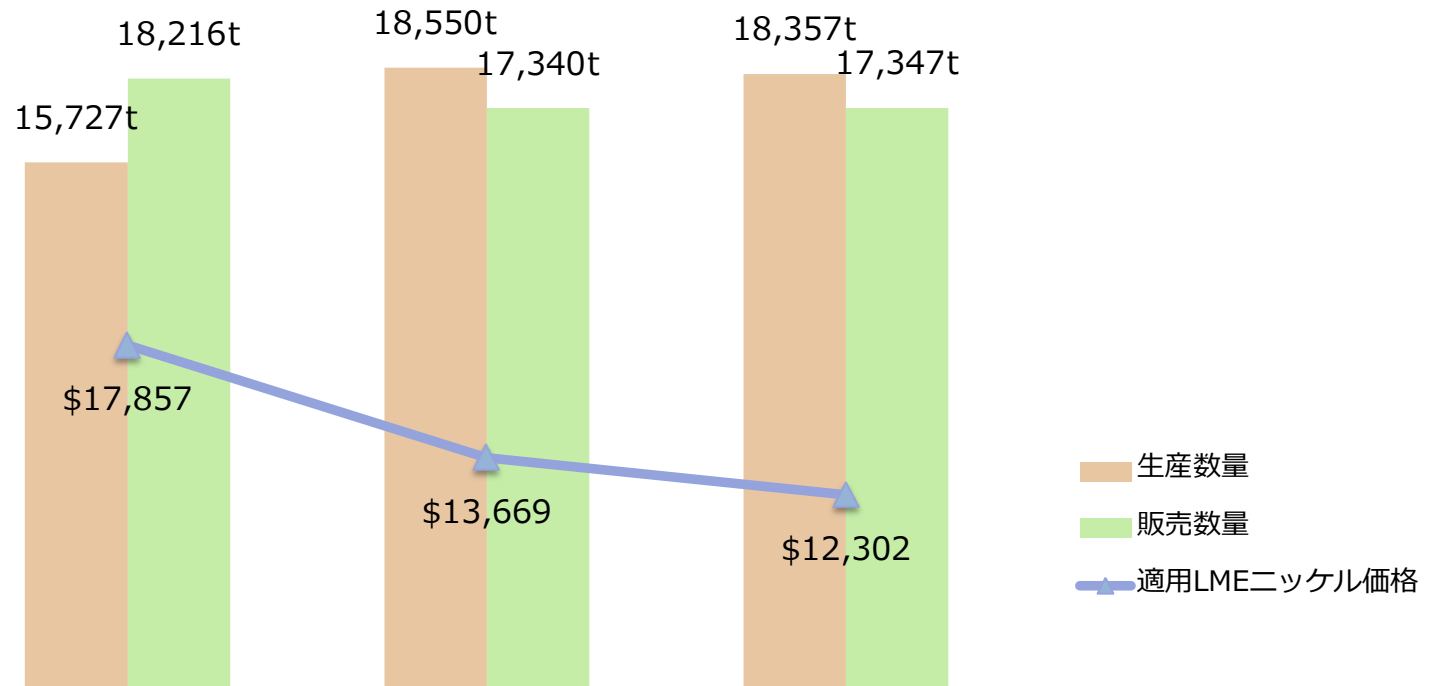
I 16.3期 中間決算

16.3期 中間決算

1.概要

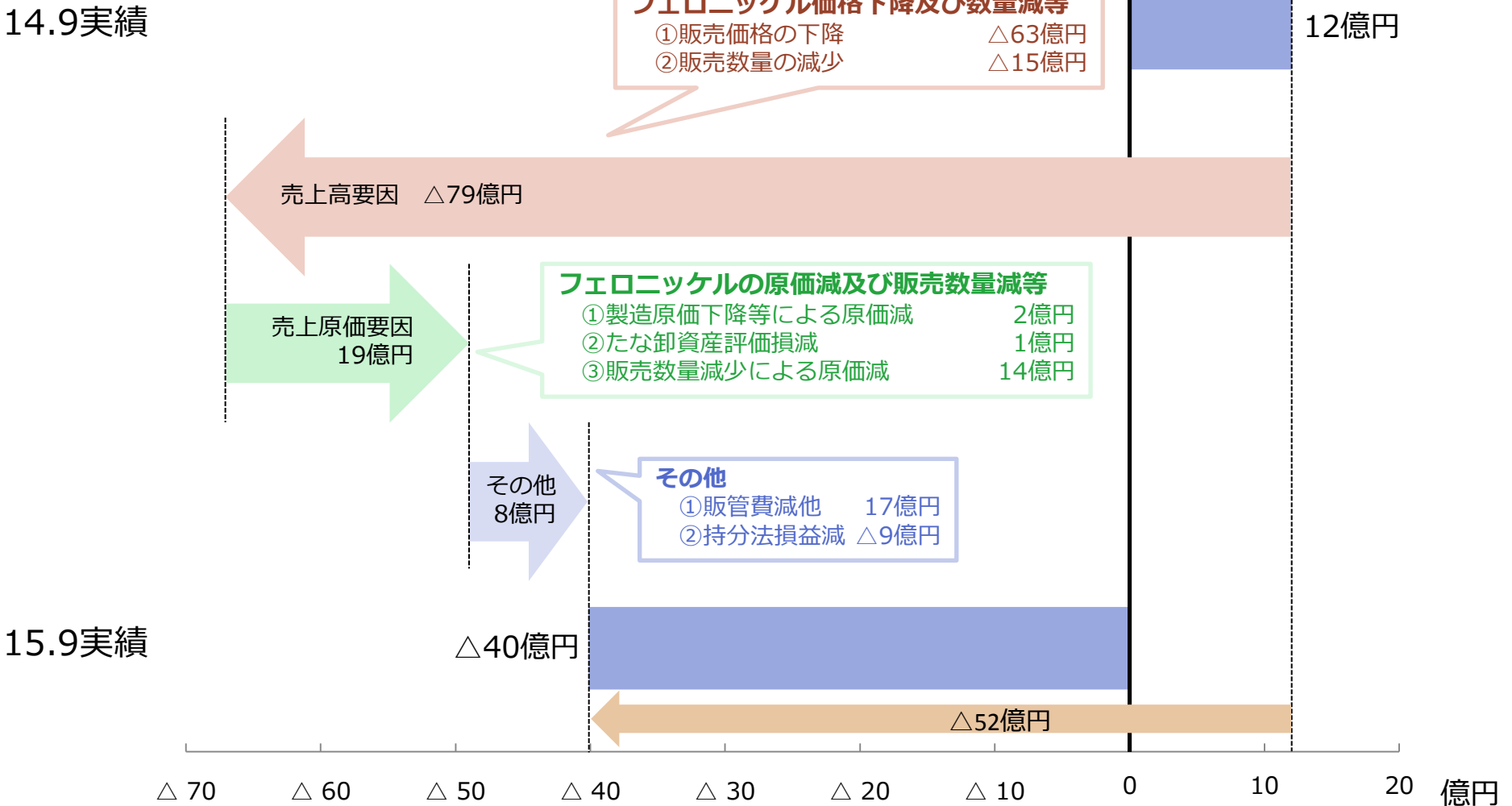


単位 百万円	14.9実績		15.9予想 (8/5発表)		15.9実績		対 前年同期比 (%)	対8/5発表 予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	34,483	—	30,014	—	27,520	—	△20.2	△8.3
営業利益	△1,861	△5.3	△1,210	△4.0	△6,186	△22.5	—	—
経常利益	1,201	3.5	995	3.3	△4,013	△14.6	—	—
四半期純利益	224	0.7	483	1.6	△4,455	△16.2	—	—
(投資額)	969	—	—	—	281	—	△71.0	—
(減価償却費)	3,449	—	—	—	2,815	—	△18.4	—



	14.9実績	15.9予想 (8/5発表)	15.9実績	対前年同期比 (%)	対8/5発表予想比 (%)
生産数量(Niト)	15,727	18,550	18,357	16.7	△1.0
販売数量(Niト)	18,216	17,340	17,347	△4.8	0.0
適用LME (\$/ト)	17,857	13,669	12,302	△31.1	△10.0
【適用LME(\$/lb)】	【8.10】	【6.20】	【5.58】		
適用為替 (¥/\$)	102.30	120.05	120.91	18.2	0.7

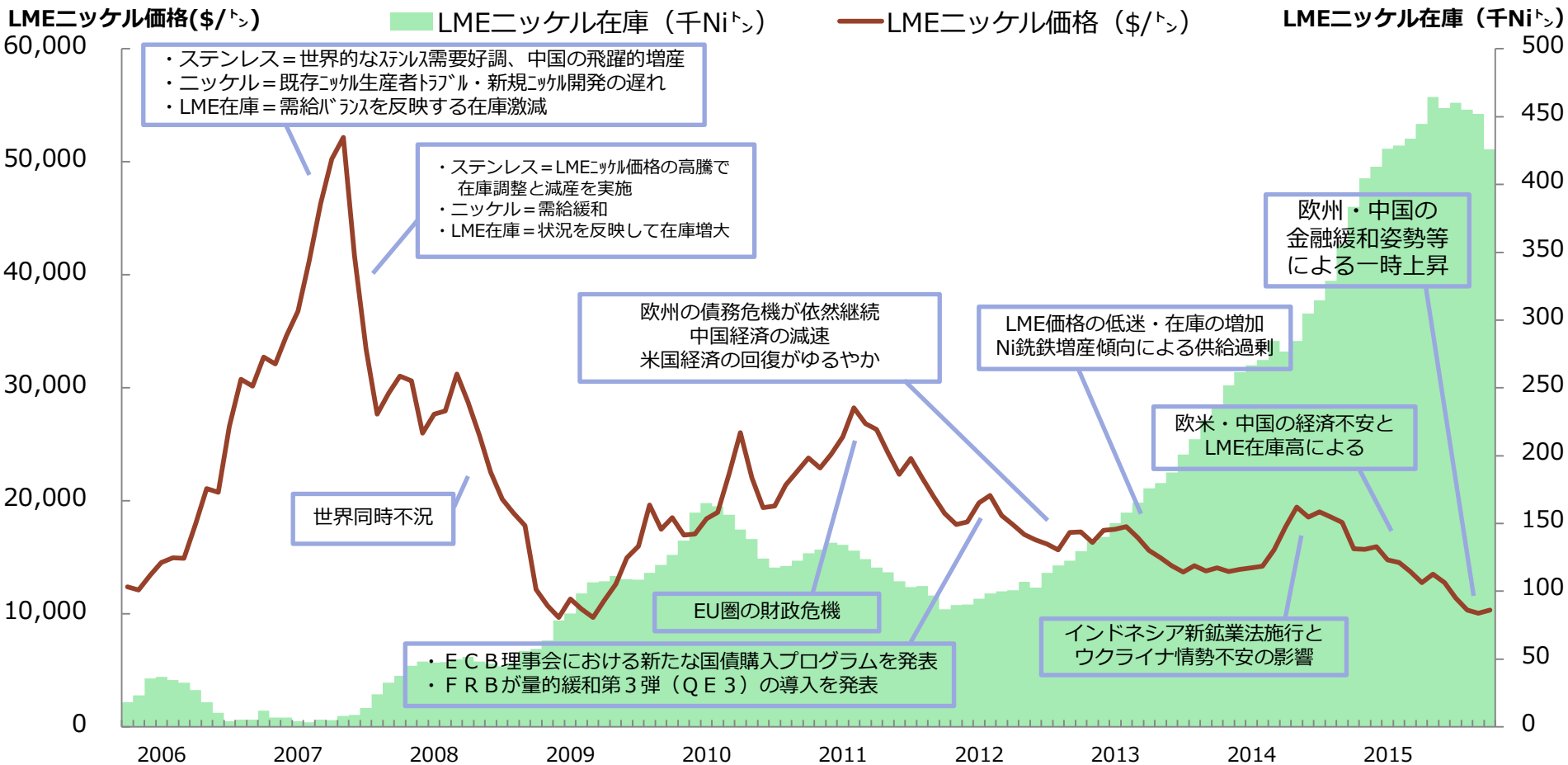
3. 連結経常損益の分析〔14.9実績対15.9実績〕



Ⅱ ニッケル需給について

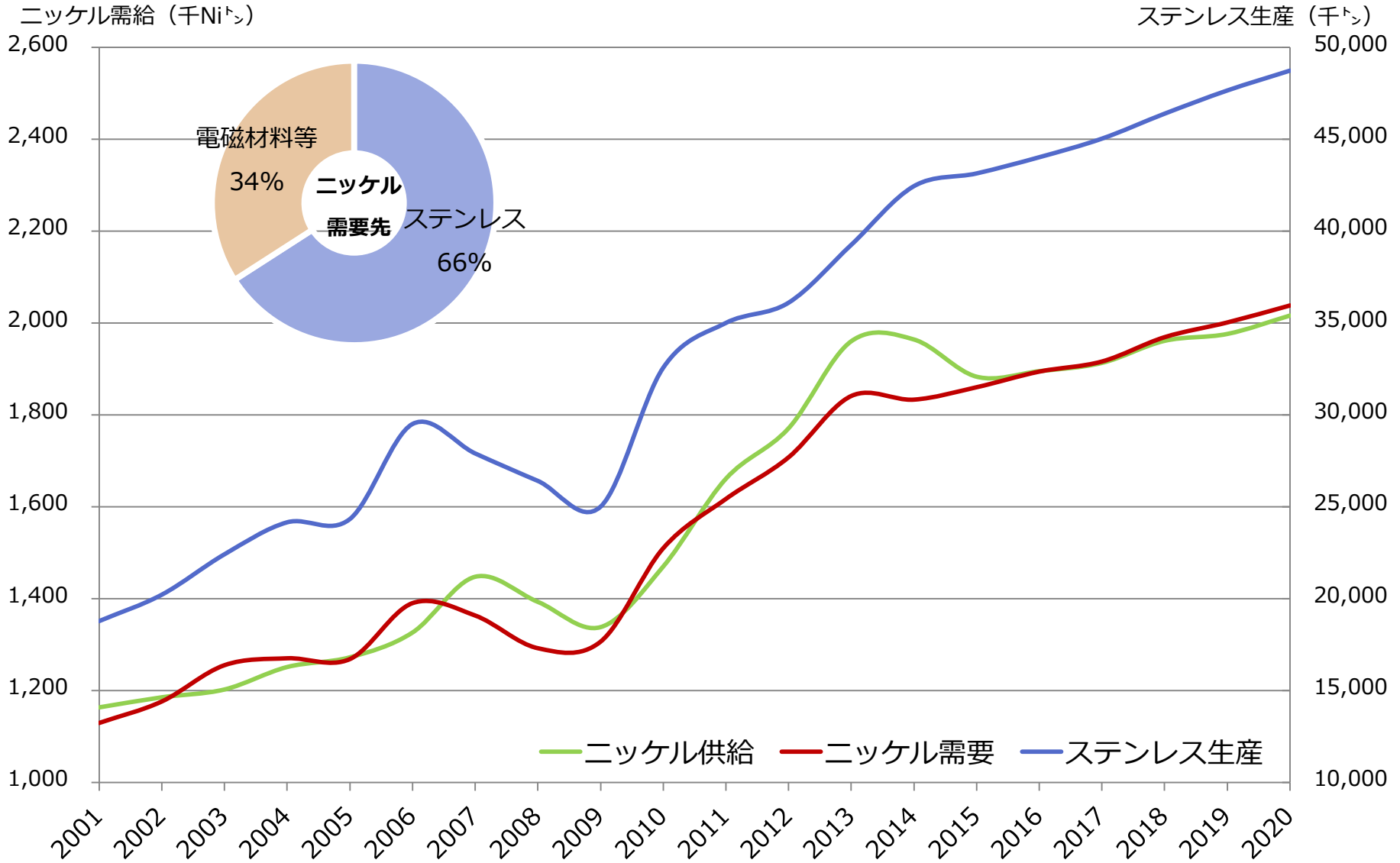
ニッケル需給について

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(2005年~2015年)



業績の推移	06.3	07.3	08.3	09.3	10.3	11.3	12.3	13.3	14.3	15.3
売上高 (百万円)	69,611	100,283	116,420	72,976	58,490	74,786	48,330	58,489	56,408	61,225
営業利益 (百万円)	23,567	44,455	52,251	16,169	11,774	18,495	154	2,168	△4,080	△7,788

2. 世界のステンレス生産とニッケル需給

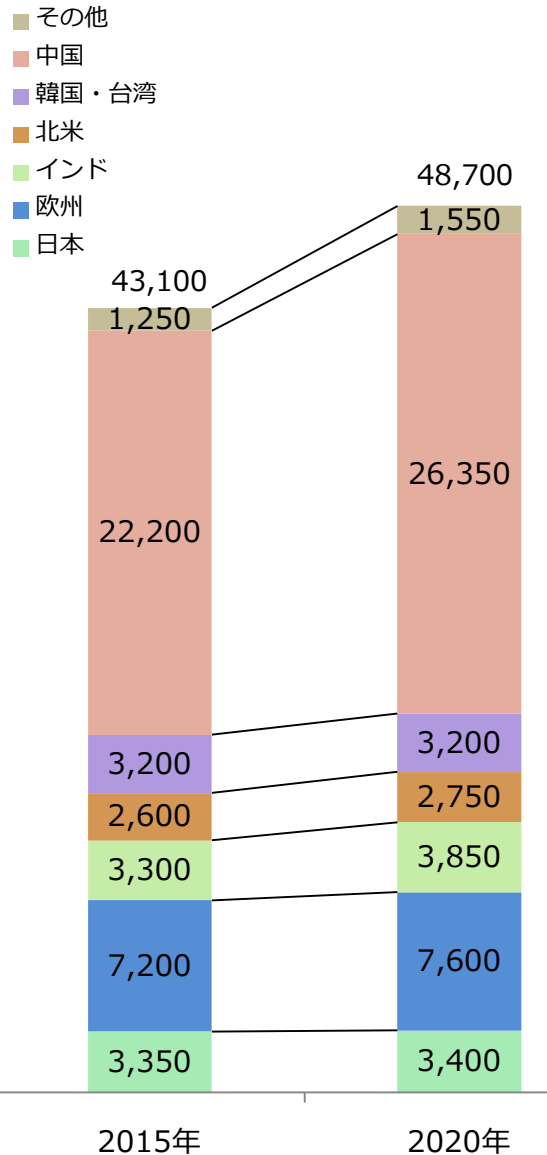


ニッケル需給について

3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し

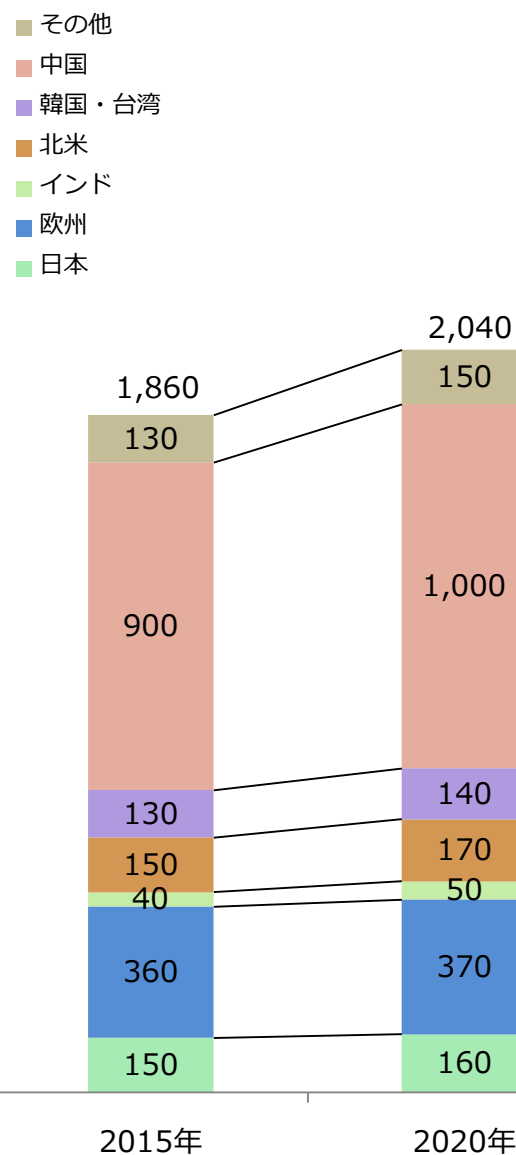
ステンレス (千トン)

地域別生産見通し

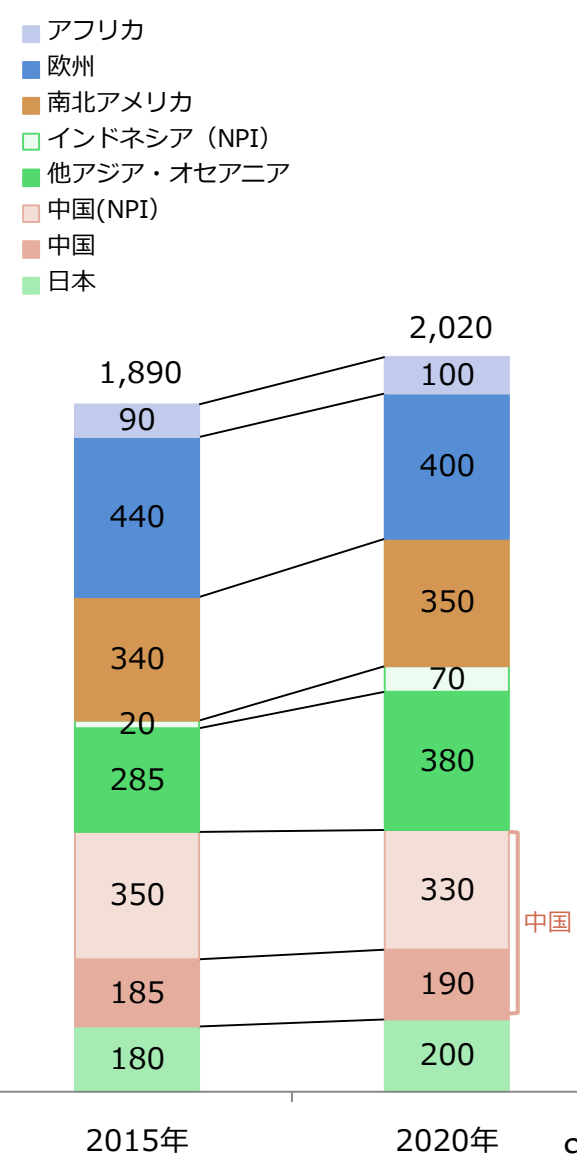


ニッケル (千Niトン)

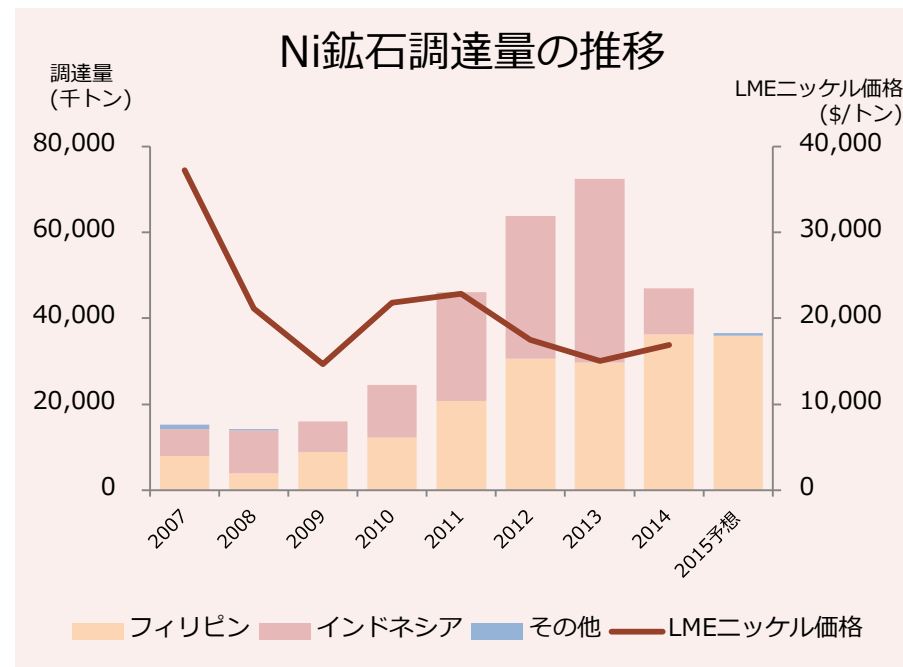
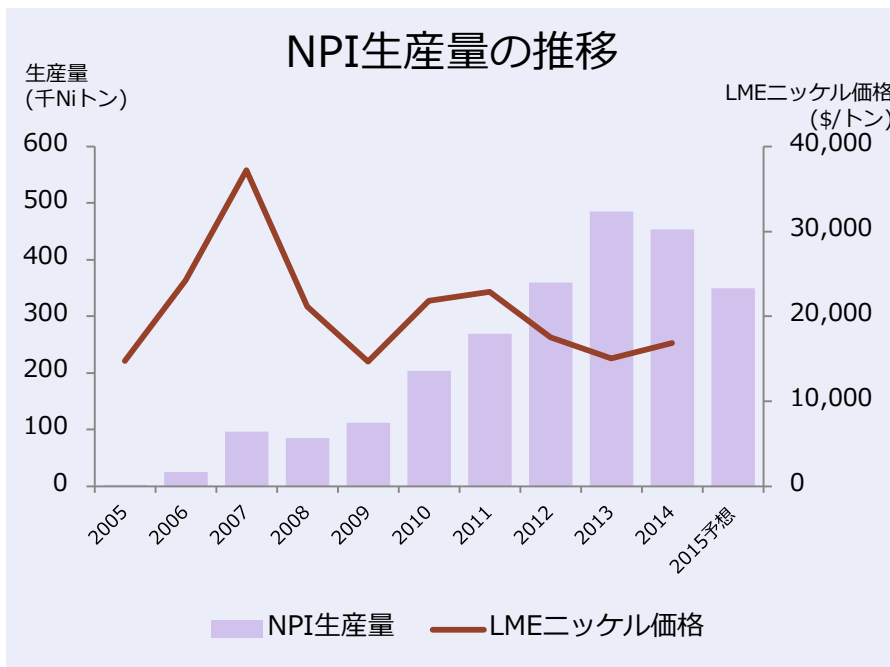
地域別需要見通し



地域別供給見通し



4. 中国NPI生産の動向



NPIメーカーの動向

- ・ LMEニッケル価格の上昇により、安価なニッケル源としてNPIが注目
- ・ 生産急拡大、鉱石調達量増により鉱石価格も高騰
- ・ インドネシア新鉱業法施行により、資源確保がフィリピンへ集中
- ・ 中国向け鉱石価格はさらに暴騰、生産コストも上昇
- ・ 販売価格低迷、鉱石値上がり分を転嫁できず採算悪化 → 減産も



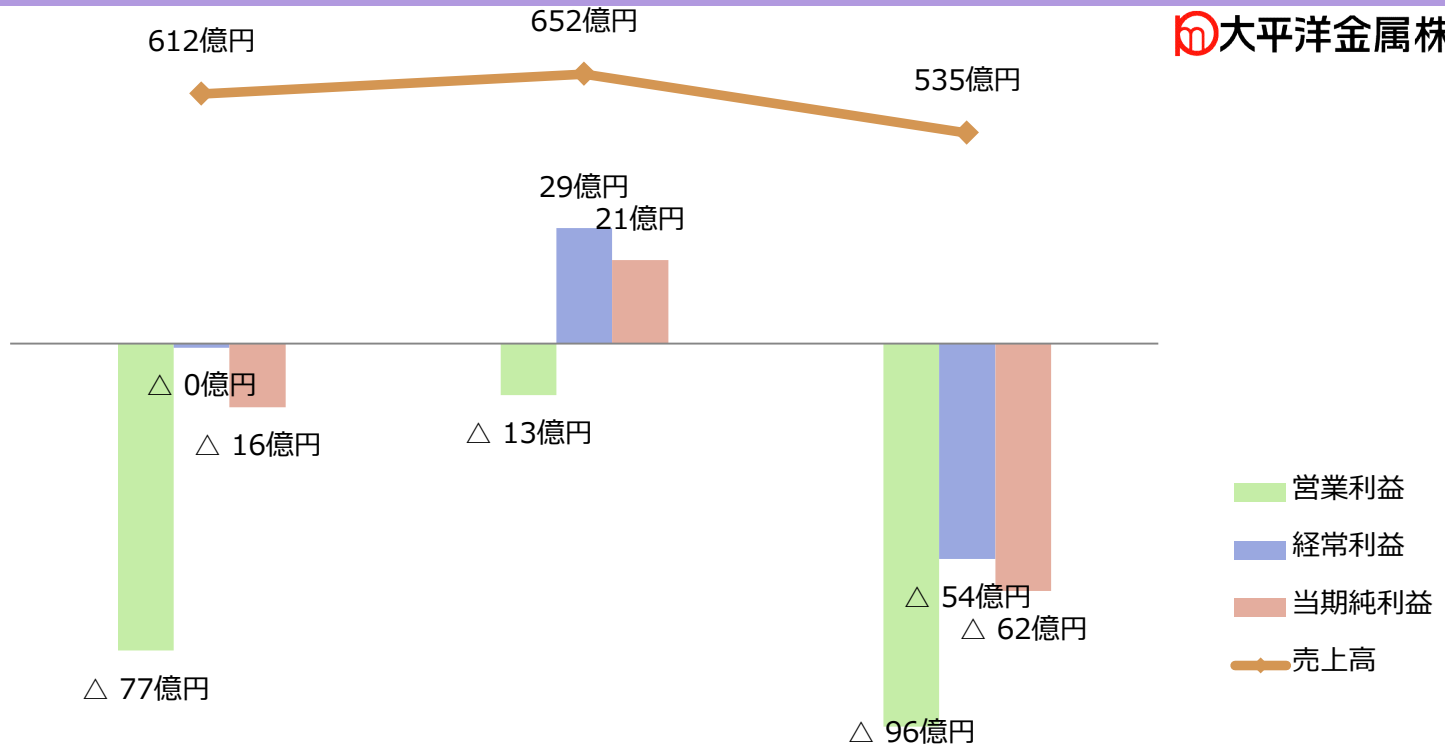
最近の動向

- ・ インドネシア産鉱石在庫はほぼ底をついているとの見方もあり、NPI生産量は減少傾向に
- ・ LMEニッケル価格下落により足許生産には減速感も

Ⅲ 16.3期 通期見通し

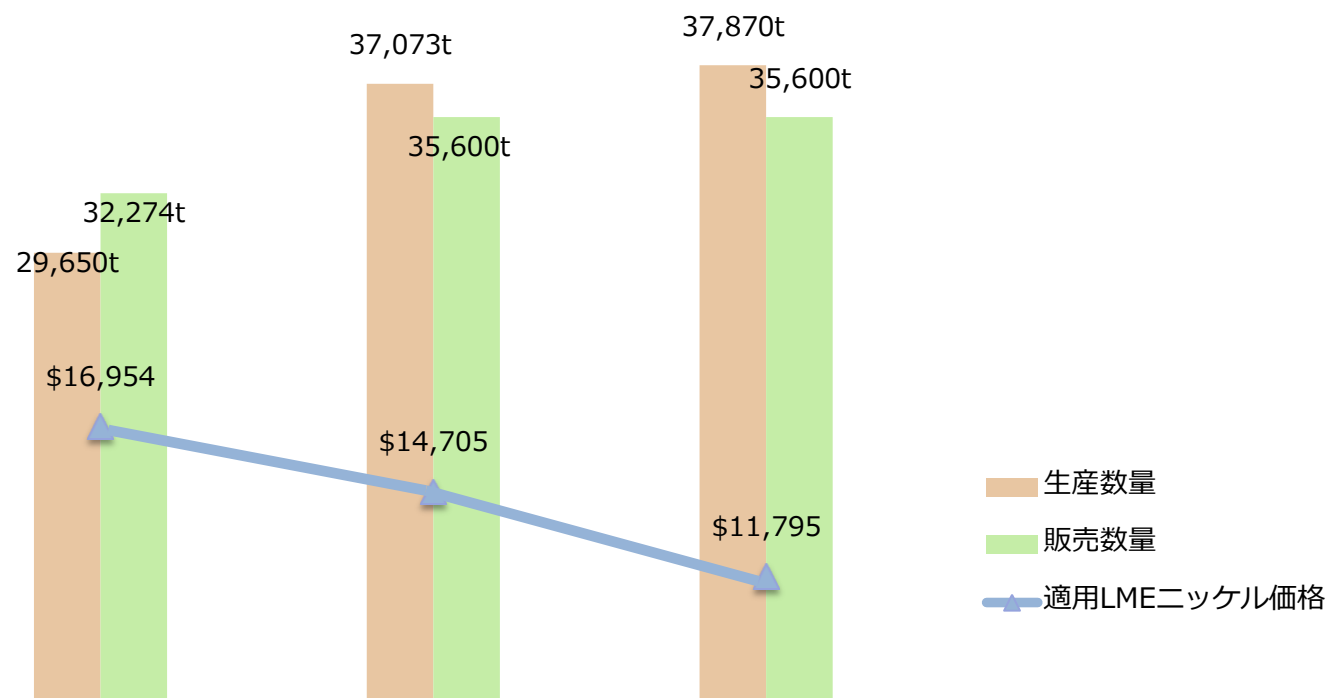
16.3期 通期見通し

1.概要



単位 百万円	15.3実績		16.3予想 (8/5発表)		16.3予想 (新)		対前期比 (%)	対8/5 発表予想比 (%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	61,225	—	65,279	—	53,589	—	△12.5	△17.9
営業利益	△7,788	△12.7	△1,362	△2.1	△9,694	△18.1	—	—
経常利益	△91	△0.2	2,917	4.5	△5,491	△10.3	—	—
当期純利益	△1,611	△2.6	2,102	3.2	△6,238	△11.6	—	—
(投資額)	4,282	—	—	—	2,824	—	△34.1	—
(減価償却費)	6,160	—	—	—	5,545	—	△10.0	—

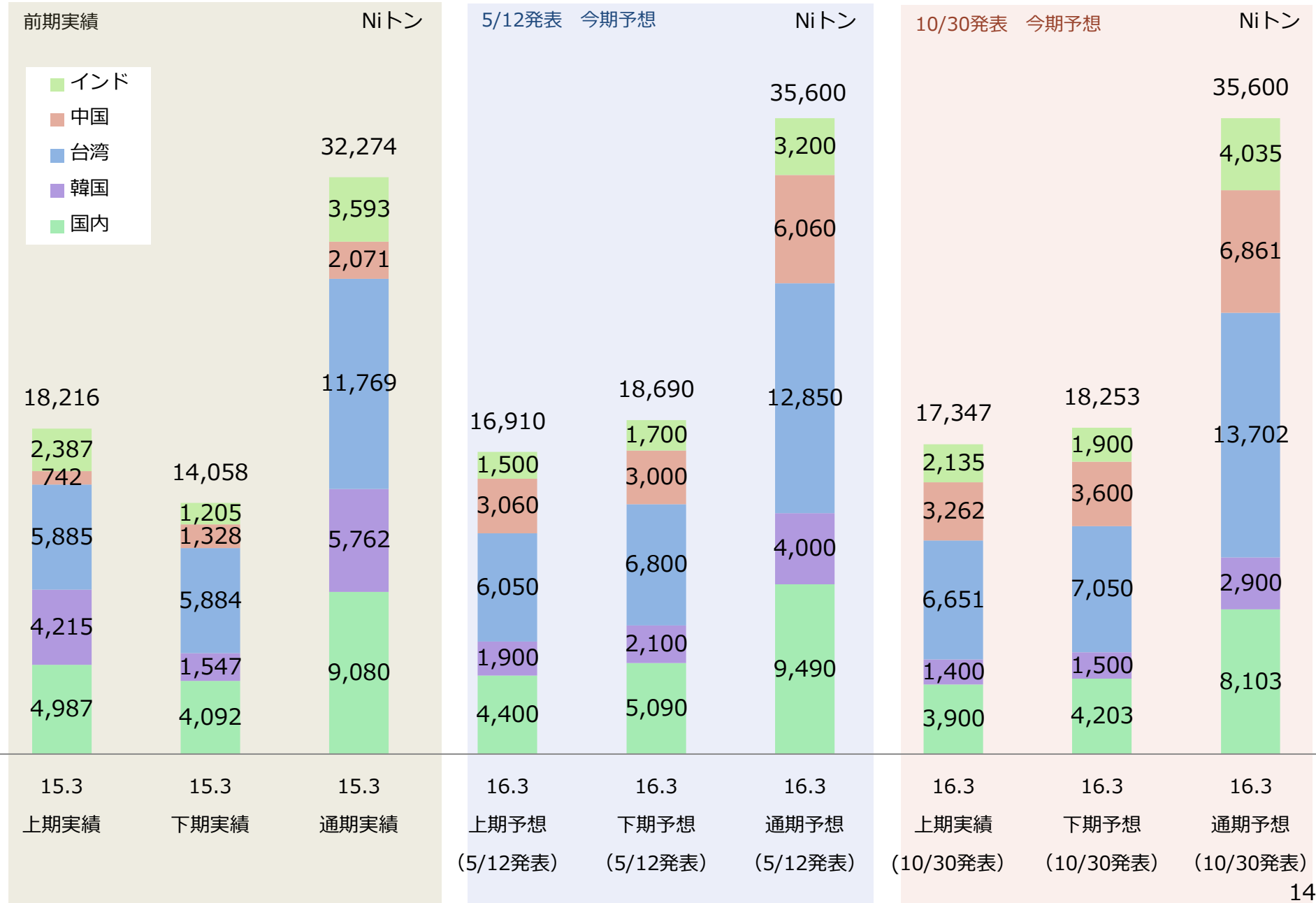
2. ニッケル事業見通し



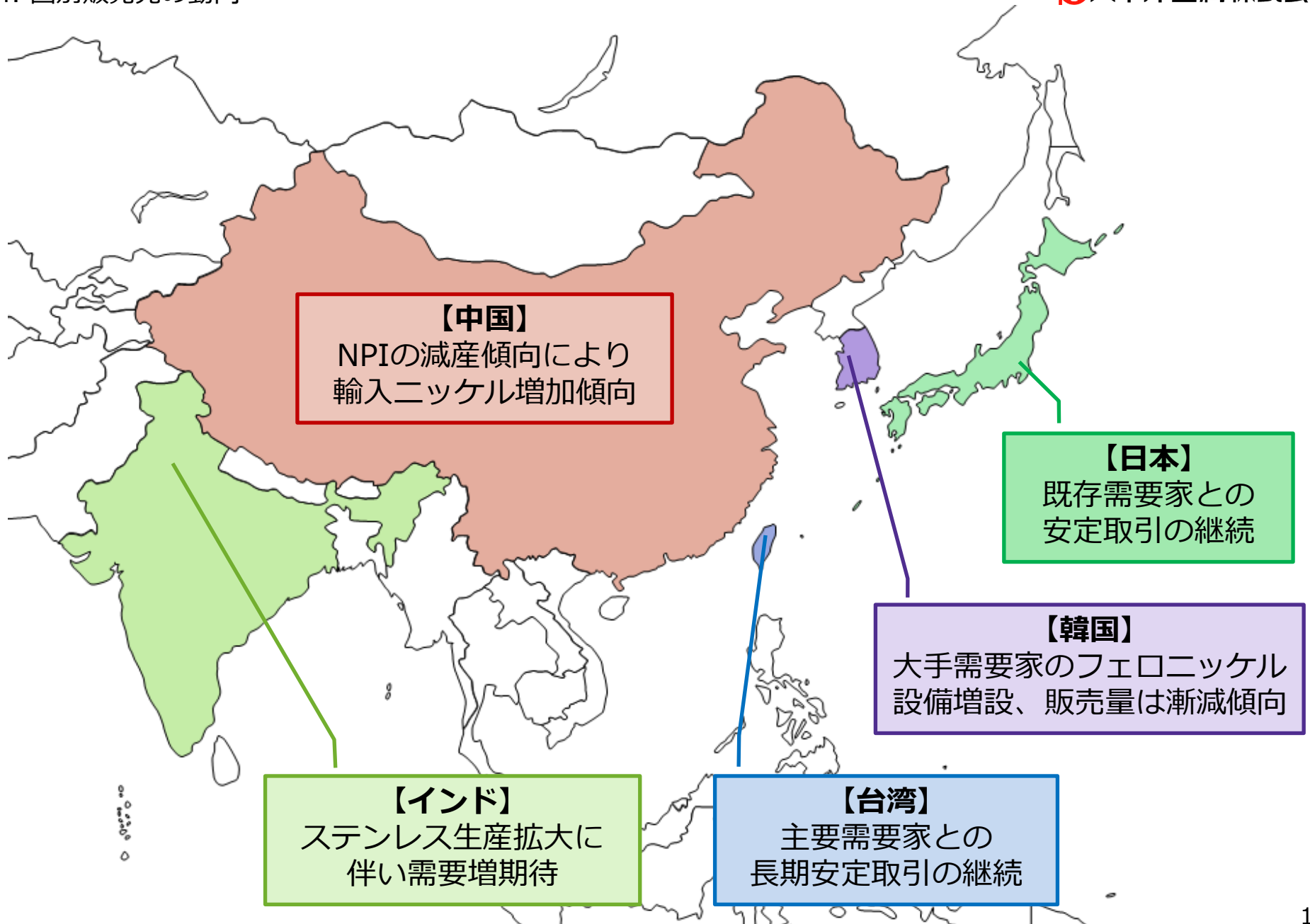
	15.3実績			16.3予想 (8/5発表)	16.3予想 (新)			対前期比 (%)	対8/5発表 予想比(%)
	上期	下期	通期		上期	下期	通期		
生産数量(Ni ^{t>})	15,727	13,923	29,650	37,073	18,357	19,513	37,870	27.7	2.2
販売数量(Ni ^{t>})	18,216	14,058	32,274	35,600	17,347	18,253	35,600	10.3	0.0
適用LME (\$/t>)	17,857	15,763	16,954	14,705	12,302	11,310	11,795	△30.4	△19.8
【適用LME(\$/lb)】	【8.10】	【7.15】	【7.69】	【6.67】	【5.58】	【5.13】	【5.35】		
適用為替 (¥/\$)	102.30	114.76	107.73	119.73	120.91	119.70	120.29	11.7	0.5

16.3期 通期見通し

3. 国別販売見通し〔15.3実績対16.3予想（新）〕



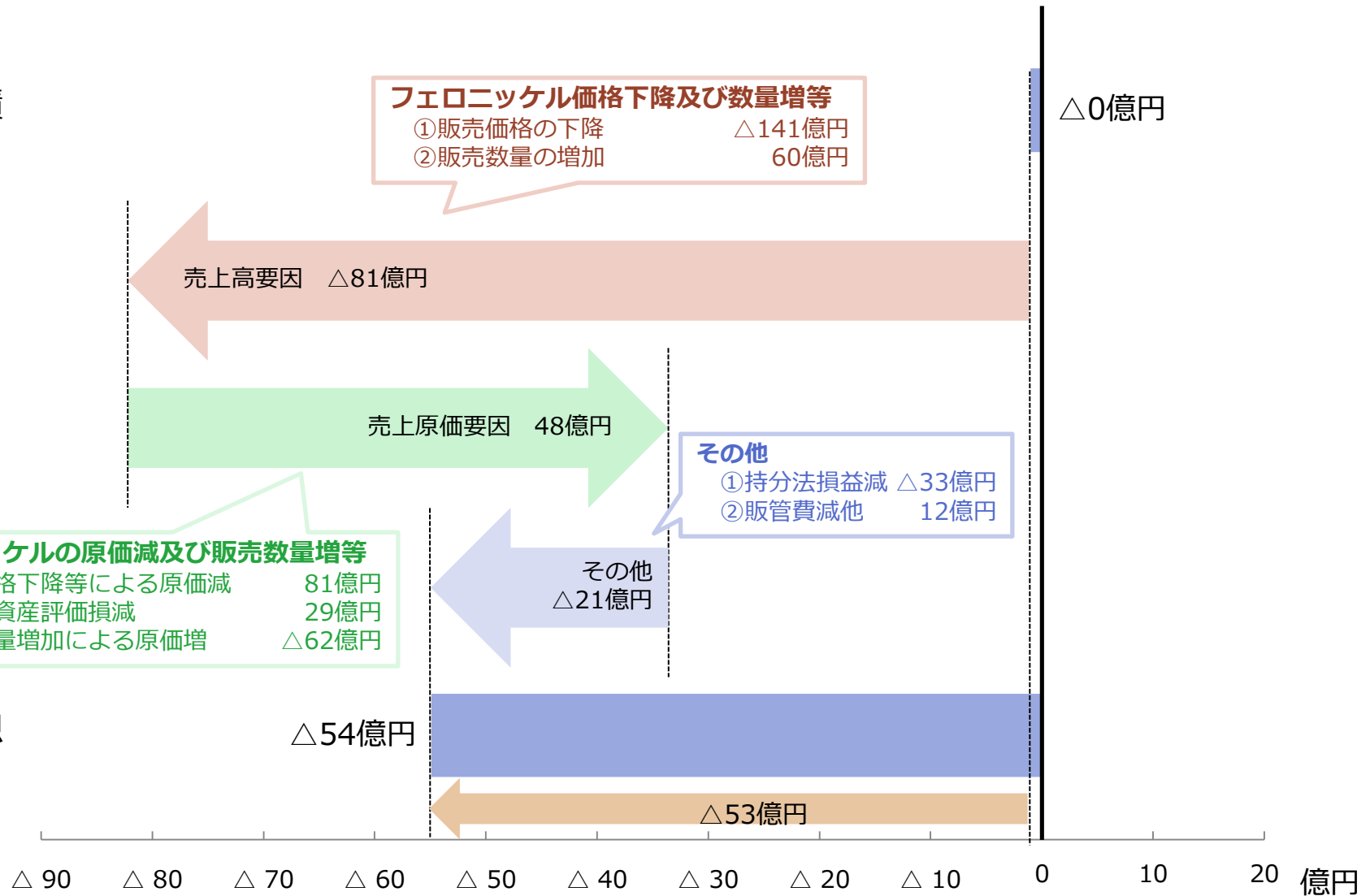
4. 国別販売先の動向



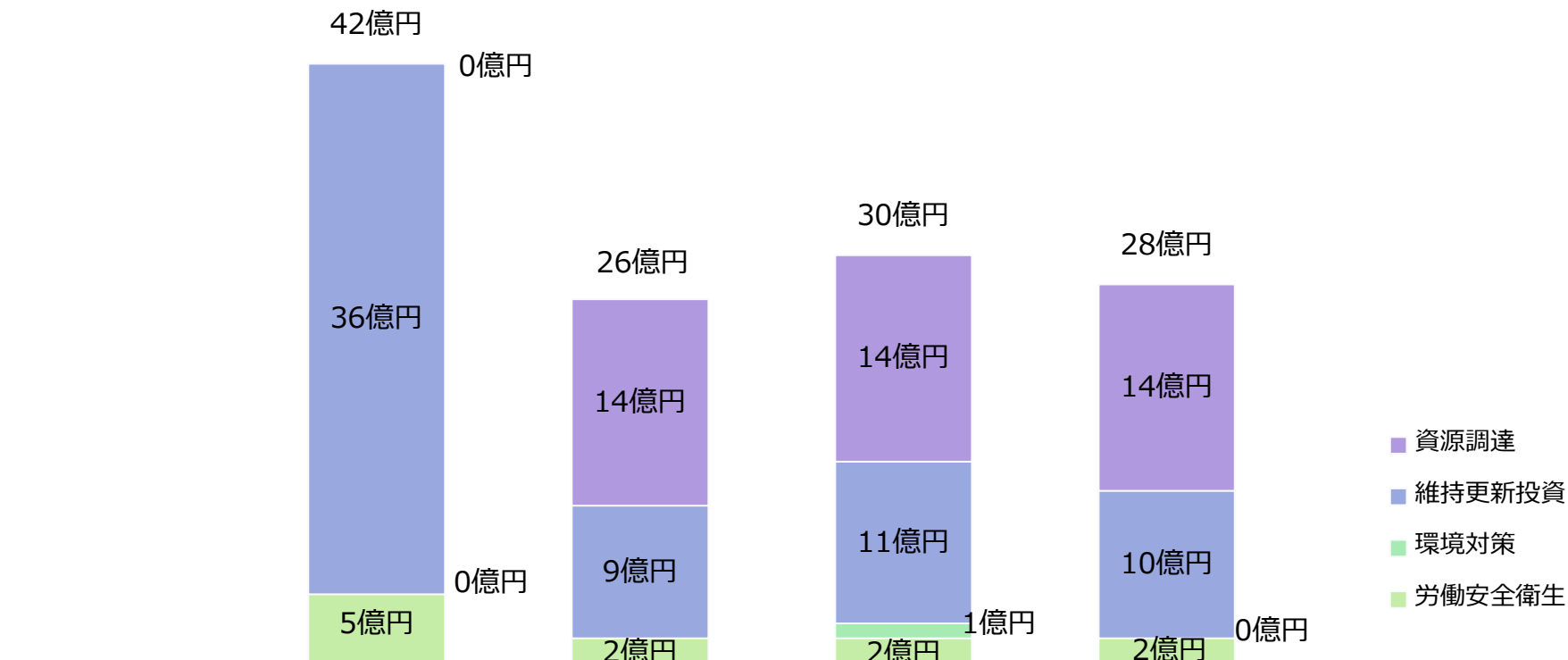
5. 連結経常損益の分析〔15.3実績対16.3予想（新）〕

15.3実績

16.3予想



6. 投資計画（単年ベース）



単位 百万円	15.3期 実績	PAMCO-27 16.3期計画	16.3期 予想	16.3期上期実績と 下期予想(新)	16.3期予想と 新規予想の差異
資源調達	44	1,440	1,490	1,454	△36
維持更新投資	3,625	948	1,160	1,028	△131
環境対策	80	—	141	62	△78
労働安全衛生	531	290	284	279	△5
合計 (工事ベース)	4,281	2,679	3,076	2,824	△251
減価償却費	6,160	6,144	5,586	5,545	△41



IV 経営課題への取り組み

1. ニッケル鉱石調達に関する課題

① 価格

- ・ 2014年1月のインドネシア新鉱業法施行に伴い、
 鉱石調達先がフィリピン・ニューカレドニアへ集中し価格急騰
- ・ 一時期よりは落ち着くものの依然高止まり傾向

鉱石調達コストの動向
(20ページ)

② 数量

- ・ インドネシア
 2014年1月の新鉱業法施行後、調達数量はゼロに
- ・ フィリピン
 2014年8月に「鉱石禁輸法案」が提出も、
 具体的進展は見られず、近い将来の禁輸可能性は低い

鉱石調達の動向
(21ページ)

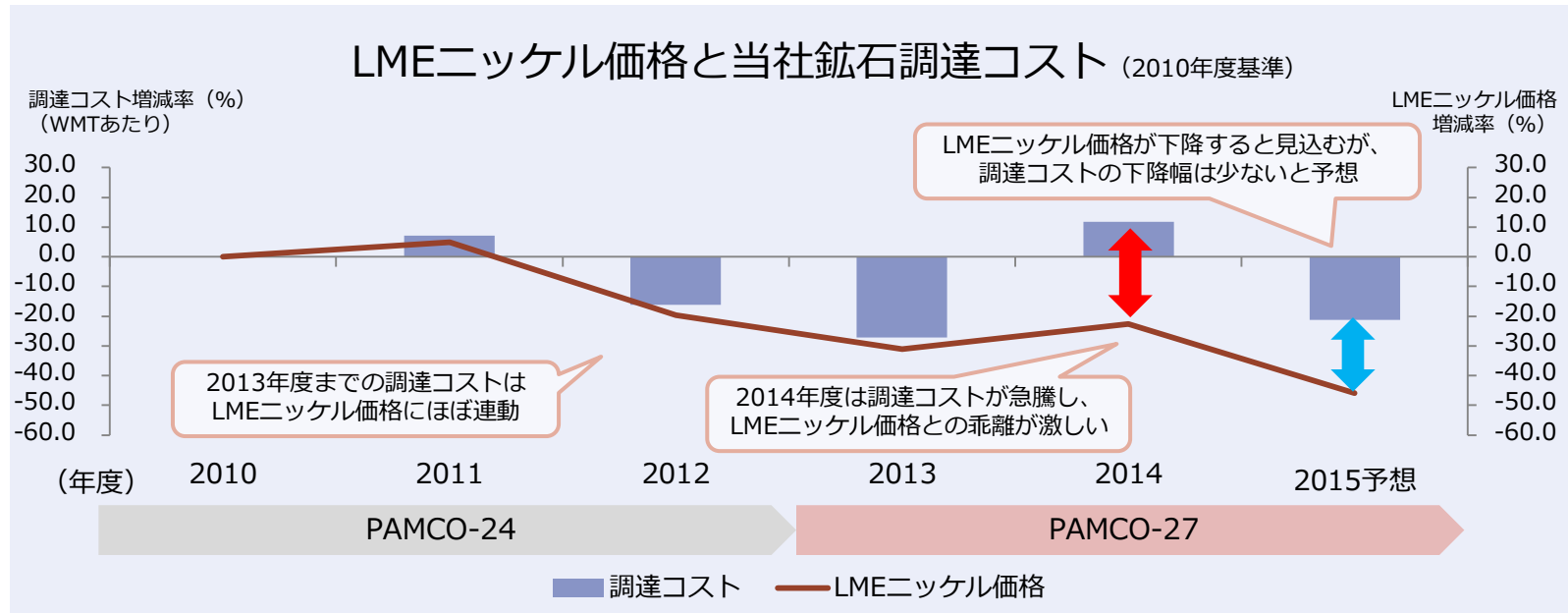
③ 品位低下

- ・ 世界的にニッケル鉱石の低品位化が進行
- ・ 調達地域にも限りあり

品位低下への対応
(22ページ)

フェロニッケル製品の主原料である
ニッケル鉱石を取り巻く環境は大きく変化

2. 鉱石調達コストの動向と対応



<最近の動向>

- ・ 鉱石調達コストは一時期よりは落ち着くものの依然高止まり傾向

<当社の対応>

- ・ 原価構造が変化する中、総コストをベースとした削減実施
- ・ 鉱山会社との緊密な関係を維持しつつ、鉱石調達価格の交渉継続

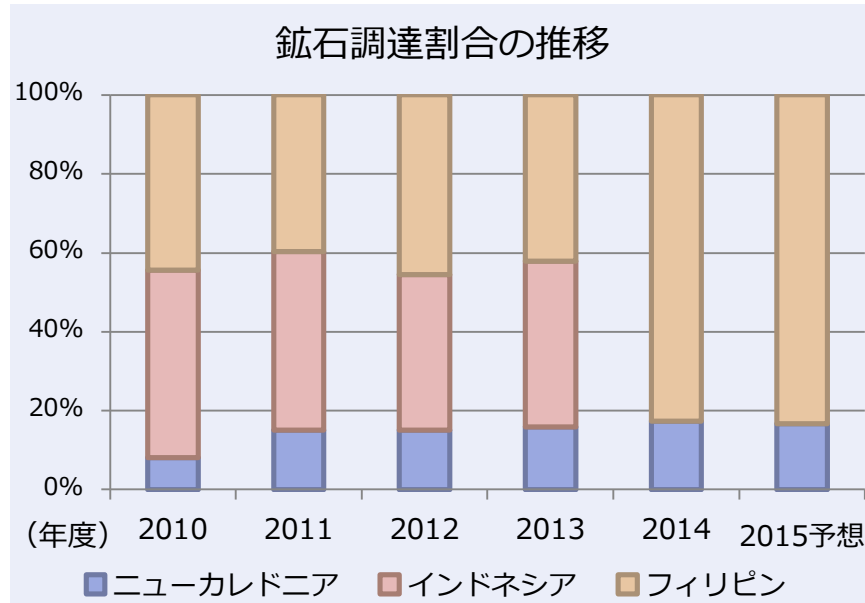


トータルコスト削減の継続

(鉱石調達コスト・物流コストの低減と改善、原料専用船による効率的な輸送オペレーション、微粉炭操業による重油使用量低減、製錬技術の改善等)

3. 鉱石長期購入契約・調達割合の動向と対応

購入先	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期	18年 3月期	19年 3月期
<フィリピン> リオ・チバ・ニッケル社(36%出資)	11年1月～15年12月(5年間)		更新予定		
<フィリピン> タガニート社(33.5%出資)	11年1月～15年12月(5年間)		更新予定		
<フィリピン> カグジャナオ社	11年1月～15年12月(5年間)		更新予定		
<インドネシア> アンタム社	14年1月 インドネシア新鉱業法施行				
<ニューカレドニア> モンタニア社	06年4月～16年3月(10年間)		更新予定		
<ニューカレドニア> MKM社	14年1月～23年12月(10年間)				



<当社の対応>

- ・フィリピン
 - 鉱山会社との緊密な信頼関係のもと、技術的・人的支援及び相互交流を継続
 - 新規調達先の開拓、長期契約締結
- ・ニューカレドニア
 - 長期契約締結、今後も調達数量拡大予定



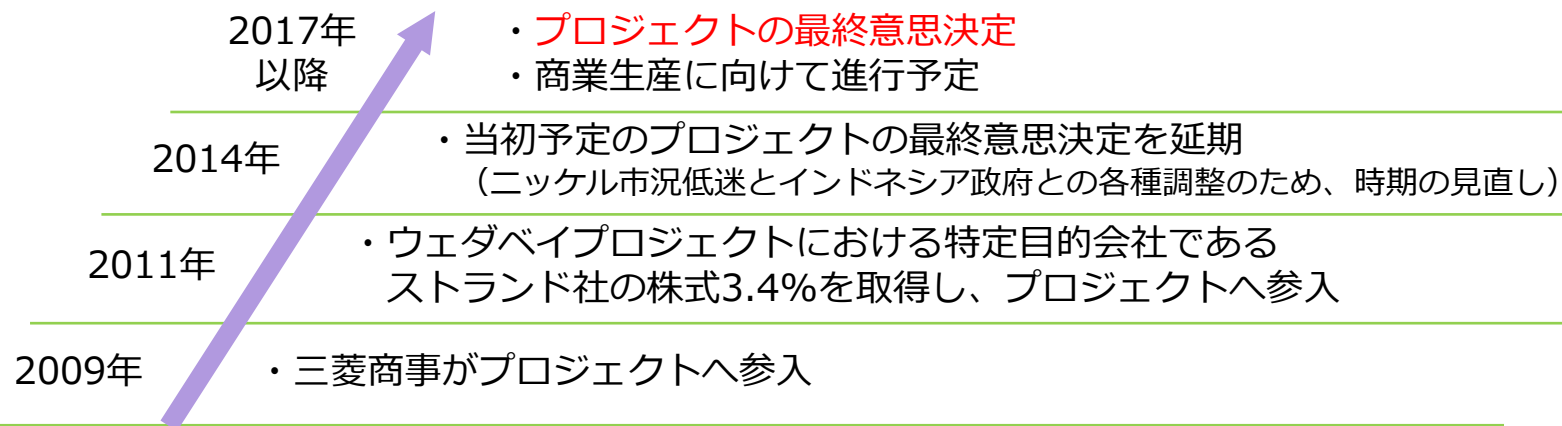
今後もニューカレドニアからの
数量増加に向けて取組み

4. 品位低下への対応

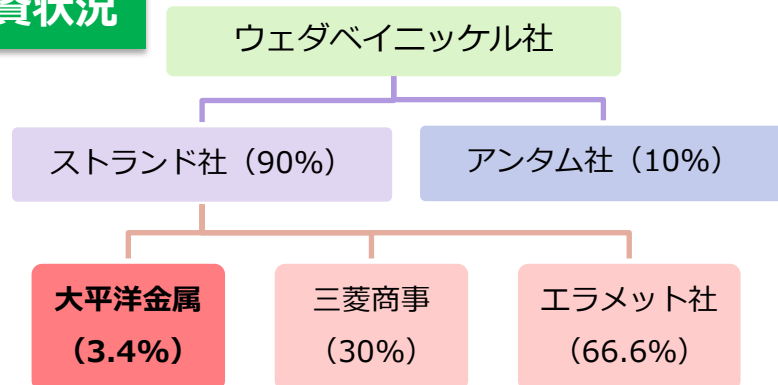
製錬技術の継続的な改善

ウェダベイ
プロジェクトへの投資

<ウェダベイニッケルプロジェクトの進捗>



出資状況



位置図



大平洋金属株式会社

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されまことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します